

看護教育論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

専門職教育としての看護教育を理解するために、看護教育の歴史的変遷を踏まえて、看護教育制度の現状と問題点を考えていく。准看護師問題、看護学教育の一元化および特定能力を有する看護師の問題等、看護学教育を取り巻く様々な問題を検討し、今後どのような看護学教育が必要とされるかを考えていく。さらには、自身の看護職としての継続したキャリア開発と継続教育の関連性を考える。

・教育成果（アウトカム）

看護教育の歴史的変遷と看護学教育の現状を理解し、看護学教育の課題を考えることができる。さらに、看護を学び続ける者、看護を実践する者として基盤となる概念、思考方法について知り、自身の看護職としての継続したキャリア形成の道すじを考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 3

・到達目標（SBO）

1. 看護教育の歴史的変遷を理解できる
2. 日本の看護教育制度の課題について理解できる
3. 現在の看護基礎教育の教育課程の特徴と課題を理解できる
4. 大学教育における看護学教育について自身の意見を述べられる
5. 自身の看護職としてのキャリア形成のための継続教育の必要性を考えることができる
6. 看護学教育の基盤となる概念を理解でき、省察的実践者について理解できる

・ 授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/21 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	日本の看護教育の歴史の変遷を学ぶ(1) ・看護教育の歴史の変遷を理解でき、終戦を経て保健師助産師看護師法が制定されるまでの概要が理解できる 事前：テキストP138-142を読む 事後：講義資料を復習する（終戦を経て、保健師助産師看護師法が制定されるまでの経緯をまとめる）
4/25 (火) 1限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	日本の看護教育の歴史の変遷を学ぶ(2) 看護教育の高等教育化への変遷を理解できる 事前：テキストP142-147を読む 事後：講義資料を復習する 【提出課題レポート1】 保健師助産師看護師法がどのような法律であるかをまとめる
6/6 (火) 1限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	看護学教育の基盤となる概念を理解できる ・アイデンティティ・クリティカルシンキング・リフレクションを学ぶ ・省察的实践者として必要な考え方と行動について知ることができる 事前：エリクソンの発達課題について復習する 事後：講義資料を復習する
6/8 (木) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	省察的实践者について理解できる ・リフレクションの実際を体験する 個人ワークとペアワーク 【リフレクションレポート】 ワークの内容と演習のふりかえりを記載して提出する
6/14 (水) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	看護基礎教育の教育制度・教育課程の特徴と課題を理解できる ・看護教育制度の現状 ・看護教育制度の問題点 事前：テキストP168-178を読む 事後：看護協会 HP 内の「准看護師制度について」を閲覧する

6/15 (木) 3限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護基礎教育の教育課程を理解できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師看護師養成所指定規則 ・看護学教育モデルコアカリキュラム ・看護学実習ガイドライン <p>事前：急速な看護師養成の大学化の要因について調べる 事後：講義資料を復習する</p> <p>【提出課題レポート2】</p> <p>①現状で、准看護師制度廃止が困難な理由について調べたことと、自分が考えたことをまとめる</p> <p>②自分はなぜ大学を選んだのかを記述し、さらに大学で学ぶことと、専門学校で学ぶことの違いについて自分の意見をまとめる</p>
7/4 (木) 1限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護職のキャリア開発 (1)</p> <p>キャリアの意味を理解し、看護職としてのキャリアディベロプメントを考えることができる</p> <p>日本における看護継続教育の現状を理解できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護継続教育の現状と課題 新人看護職員研修 現任教育 <p>事前：テキストP162-165を読む 厚生労働省：新人看護職員研修ガイドラインのI.新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方を読んでおく</p> <p>事後：講義資料を復習する</p> <p>【提出課題レポート3】</p> <p>「新人看護職員研修を受ける側である「新卒者」としての自己の課題」を表明する</p>
7/6 (木) 2限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授	<p>看護職のキャリア開発 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門看護師・認定看護師・特定行為を実践する看護師 <p>事前：テキストP165-168を読む 事後：講義資料を復習する</p> <p>【最終レポート】</p> <p>看護教育論の講義を受けた今、「看護職としてどう生きるか」を考える</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 (第17版)	茂野香おる他編	医学書院	2020
参	看護教育学(改訂第2版)看護を学ぶ自分と向き合う	グレッグ美鈴, 池西悦子編集	南江堂	2018

・ 成績評価方法

3つの提出課題レポート 30点、リフレクションレポート 20点、最終レポート 50点で評価する。
(レポート評価にはルーブリックを用いる)

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業の事前事後学習内容は授業内容で提示してある。授業後に課題を提出し、その内容をレポート評価するので、しっかり授業を聴き、自身の考えをまとめること。

事前事後学修にはそれぞれ 30分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出した課題については、必要時授業内で共有する。

提出されたレポートは個別に返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (ELMO PX-10)	1	講義用資料投影